

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立恵那高等学校

学校番号 49

I 自己評価

1 学校教育目標	質実剛健・自重自治の伝統精神を基調とし、進取闊達にして知性と情操豊かな民主国家の形成者を育成する。	
2 評価する領域・分野	◇教育課程・学習指導	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育方針、学校経営の項目については保護者・生徒ともに昨年より概ね良い評価をいただいている。学校の方針等が理解されているのではないかと。学校行事の項目でも概ね高い評価をいただいている。 ・学習指導においては保護者・生徒から昨年より評価が高くなっているが、「子どもが意欲的に取り組むように授業の工夫をしている」の質問だけ生徒の評価が下がっている。授業アンケートや、いろいろな研修を通して授業改善に努める必要がある。「保護者が授業を参観する機会等をよく設けている」項目では84.1%と昨年よりさらに高くなっているが、いろいろな広報活動により学校の行事の内容が保護者に認知されつつあるのではないかと。しかし実際に参加してもらえ保護者の数が増えた実感は少ない。さらに参加しやすい機会を作る必要がある。 ・選択授業や少人数授業については保護者からの評価が高いとは言い切れない。現在行っている内容等をしっかりと理解してもらえよう取組みや生徒に即した授業展開を考えていく必要がある。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校及び家庭での学習習慣の確立 ◇生徒自らが学習を計画的・積極的に行うことができる ◇高度な教育内容を維持し、リーダーとしての資質を育成 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任及び教科担任との連携強化（教育相談との連携） ・授業内容の向上とその方策の研究（課題の見直し等） ・高大接続改革に関わる新教育課程の研究及び立案 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習アンケートの結果を基にした各分掌・教科での分析 ・定期考査や外部模試等の結果分析を基にした指導内容の検討 ・「総合的な学習の時間」「SSH」の充実 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 個人面談指導による生徒把握 (2) 定期考査や外部模試等、調査 (3) 総合的な学習の時間・SSHの発表等 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談期間以外にも放課後、昼休みを利用したきめ細かな面談を実施し、個別対応を強化する。 ・校外模試の分析結果を職員会議で報告し、職員間で情報を共有し、各教科で対策を検討する。 ・45分の授業を有効に活用するため、授業改善に努め自習時間をつくらない等、職員の意識統一を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習習慣の定着 ②生徒学力の把握 ③学習意欲・向上心の喚起 	<p>A (B) C D</p> <p>(A) B C D</p> <p>A (B) C D</p>
11 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○学校広報紙「恵那高ニュース」の中学校版・生徒保護者版の定期的な配布、中学生一日体験入学・オープンスクールの内容の充実等により教育活動の周知を図ることができている。更に継続的に取り組み、本校の教育活動の一端を周知させていきたい。 ○「学校の教師は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる」については、保護者、生徒ともに高評価をいただいております。授業・補習・部活動などあらゆる場面での教師の積極的な取り組みへの成果であろう。 ▲学習指導の項目では保護者からは「わからない」との回答が多く見られる。また、生徒の「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」と回答する割合も高く、授業内容、学習課題の出し方などの工夫・改善をしていくとともに、家庭との連携を密にしていきたい。 	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習意欲・活動を高め、教師個々の能力を向上させるため、授業研究週間等を通して、互いの授業をし合うことにより授業改善を図る。 	

- ・恵那高校の教育活動を理解してもらうために、広報新聞・学校紹介パンフレット等を作成し、こまめな広報活動を行う。

II 学校関係者評価

実施年月日：平成31年1月29日

【意見・要望・評価等】

- ・恵那高校に入学してくる生徒は、大半が大学等上級学校へ進学を希望している。それに対応できる学力をつけることが大きな使命であると思うが、それにしっかり取り組んでいると感じた。併せて、学力のみにとどまらず、知育・徳育・体力にも力を注いでおり、バランスがとれている。
- ・授業を見学した感想として、先生・生徒のどちらの発言に対しても、人の話をしっかり聞けていて、たいへん素晴らしいと感じた。話題が共有できていて、とても楽しそうに授業を受けているのがとても印象的だった。